



# 国際子ども図書館 の 窓

子どもの本は  
世界をつなぎ、  
未来を拓く！

第 22 号

2022.9

表紙デザイン：熊谷博人氏

# はじめに



国際子ども図書館は、我が国唯一の国立の児童書専門図書館として2000（平成12）年の設立以来、「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！」の理念に基づき、すべての子どもに本を手渡すための様々な活動に取り組んでまいりました。『国際子ども図書館の窓』第22号では、2021（令和3）年4月から2022（令和4）年3月まで1年間の活動の概要をご紹介します。この1年間は、延期されていた東京オリンピック・パラリンピック

開催や、上野動物園のジャイアントパンダが双子の赤ちゃんを出産するなどのニュースが世間を賑わした反面、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症が大きな影響を及ぼした年でもありました。

国際子ども図書館では、このような中、感染症対策の観点や遠隔地にお住いの方々にも容易にご参加いただけるよう、各種の講演会や研修などのイベントを可能な限り録画配信方式とした結果、これまでの対面型での開催時と比べ、桁違いに多くの方々にご参加いただくことができました。また、オンラインによる広報強化の一環として、Twitter などを使った情報発信や3Dビュー映像によるレンガ棟のバーチャルリアリティコンテンツの作成に取り組みました。一方で、感染症の影響により、これまで休止していた「子どものためのおはなし会」を10月から再開し、毎週土曜日には、会場がたくさんの子どもたちの笑顔で溢れるようになりました。

また、2021（令和3）年は、「国際子ども図書館基本計画2021-2025」の最初の年でもありました。この基本計画は、デジタル化が進展する社会における子どもや図書館を取り巻く環境の変化を見据えながら、国際子ども図書館の3つの基本的役割である、「児童書の専門図書館としての役割」、「子どもと本のふれあいの場としての役割」、「子どもの本のミュージアムとしての役割」を十全に果たしていくというものです。世界的な感染拡大の影響により、社会はデジタルトランスフォーメーションに大きく舵を切りつつあります。国際子ども図書館でも、すべての子どもたちと子どもの読書活動を支える方々のお役に立てるよう、オンライン上の各種サービスを充実させるとともに、子どもが直接本と触れあうことで得られる【温もり】も大切にしつつ、新たな時代のサービスに真摯に取り組んでまいりたいと考えています。

次世代を担う子どもたちが、多くの本に触れることにより、その想像力の翼を大きく広げて世界に羽ばたいていく手助けを、私たち国際子ども図書館は微力ながらも行ってまいります。

今後とも、みなさまのより一層のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

令和4年9月

国立国会図書館国際子ども図書館長 三浦 良文

国際子ども図書館の窓 第22号  
目次



【はじめに】

【活動報告】

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応
- 2 児童書専門図書館としての活動
  - 2.1 資料・情報センターとしての機能
  - 2.2 子どもの読書活動推進支援
  - 2.3 国際的な交流活動
- 3 子どもと本のふれあいの場としての活動
  - 3.1 子どもの成長段階に応じた館内サービス
  - 3.2 子どものための連携イベント
  - 3.3 子ども向けの情報発信
- 4 子どもの本のミュージアムとしての活動
  - 4.1 館内展示
- 5 国内外の諸機関との連携・協力、広報活動等
  - 5.1 講演会等
  - 5.2 広報活動
  - 5.3 関係者会議
  - 5.4 見学・案内
  - 5.5 刊行物

【令和3年4月から令和4年3月までの主なできごと】

【数字で見る国際子ども図書館】

【国際子ども図書館利用案内】

# 活動報告

(令和3年4月～令和4年3月)

## 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、エントランスでの検温の実施、資料室入口等へのアルコール消毒液の設置、資料室等の座席数の削減、カウンターへの飛沫防止ビニールの設置、机や端末の定期的な清拭等の安全衛生対策を実施した。また、緊急事態措置期間及び週末を中心に、整理券による入館制限を実施した。

なお、子どものためのおはなし会は開催形式や場所を変更し10月16日に再開したが、ちいさな子どものためのわらべうたと絵本の会は引き続き休止した。ガイドツアー及び一般向け団体見学は、人数を縮小し、予約制として10月26日に再開した。このほか、一部の研修及びイベントを中止した。

## 2 児童書専門図書館としての活動

「国際子ども図書館基本計画 2021-2025」に基づき、国内外の児童書及び関連資料を収集・保存・提供するとともに、児童書に関する情報を発信し、子どもの読書に関わる多様な活動を支援した。また、児童書や図書館への関心に結び付くよう工夫した展示会や催し物を開催した。

### 2.1 資料・情報センターとしての機能

#### (1) 蔵書構築

##### ○資料の収集

国内刊行児童書を納本制度により収集したほか、未収の国内刊行児童書（野口雨情『十五夜お月さん』等）、国内外の児童書関連資料、児童サービス用資料、学校図書館セット貸出用資料、主要児童雑誌の欠号等を収集した。

外国刊行児童書については、*The little housewife ABC*（Raphael Tuck & Sons 刊）などを含む欧米や中国、韓国等の資料のほか、令和2年度に作成した選書用ブックリストに基づき、ジョージアの児童書を重点的に収集した。また、令和3年度はリトアニアの児童書・関連書について櫻井映子氏（リトアニア語・リトアニア文学研究者）に調査及び選書用ブックリストの作成を依頼した。調査報告とブックリストは国際子ども図書館ホームページで公開している（<https://www.kodomo.go.jp/info/foreign/index.html>）。また、ポーロニャ国際児童図書展事務局から2021年ポーロニャ国際児童図書賞応募作品176点の寄贈を受けた。

令和3年度の蔵書増加数については、日本語の図書が9,167点、外国語の図書が3,663点、国内雑誌が24タイトル、非図書資料が2,051点であった。

なお、資料の破損・劣化対策として、146点を補修した。

##### ○資料のデジタル化

児童書については、1968年以前に刊行された国内刊行図書及び1970年以前に刊行された国内雑誌のデジタル化がおおむね終了している。令和3年度は、1968年以前に刊行された国内刊行図書のうち未デジタル化分約570点をデジタル化した。

#### (2) 情報サービス

##### ○ホームページコンテンツのウェブアクセシビリティ対応

国際子ども図書館ホームページ上で提供している電子展示会「日本発☆子どもの本、海を渡る」の日本語版について、国立国会図書館ウェブアクセシビリティ方針に基づいた改修を行い、令和4年3月に公開した。

※<https://www.kodomo.go.jp/anv10th/index.html>

### ○国立国会図書館サーチにおける児童書総合目録の提供

国立国会図書館サーチを通じ、国立国会図書館（国際子ども図書館を含む。）、大阪府立中央図書館国際児童文学館、神奈川近代文学館、三康文化研究所附属三康図書館、日本近代文学館、東京都立多摩図書館、梅花女子大学図書館、白百合女子大学図書館・白百合女子大学児童文化研究センターが所蔵する児童書・関連資料の所蔵情報を検索できる児童書総合目録を提供している（令和4年3月末現在、計738,482件）。令和3年度は、東京都立多摩図書館のデータを更新した。

※<https://iss.ndl.go.jp/>

### ○国立国会図書館検索・申込オンラインサービス（略称：国立国会図書館オンライン）への目録データ追加等

国際子ども図書館が整理したアジア諸言語の新規受入児童書資料の目録データ859件（韓国語108件、中国語404件、アラビア語64件、グルジア語1件、タイ語3件、トルコ語82件、ヘブライ語9件、ペルシャ語5件、モンゴル語183件）を追加した。また、児童書専門付加情報として、日本児童図書出版協会から提供された『児童図書総目録』の内容解説データ1,504件を投入した。

※<https://ndlonline.ndl.go.jp/>

### ○リサーチ・ナビにおける「調べ案内」新規作成・更新

国際子ども図書館が所蔵する資料に関する「調べ案内」について、コンテンツの更新を1件行った。

※<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

### ○レファレンス協同データベースへの事例提供

国際子ども図書館が回答したレファレンス事例41件を追加した。令和4年3月末現在、計769件を提供している。

※<https://crd.ndl.go.jp/reference/>

### ○「外国語に翻訳刊行された日本の児童書」情報の提供

令和4年3月31日、国際子ども図書館ホームページにおいて、国際子ども図書館で所蔵する海外で翻訳刊行された日本の児童書の書誌情報を一覧化したファイルの提供を開始した。令和3年3月末現在、計6,827件のデータを提供している。

### ○「国際子ども図書館の蔵書からみる国内の児童図書の出版状況」の公開

国際子ども図書館の蔵書のうち、日本国内で、2019年に出版された児童図書を国立国会図書館分類表に基づいて分野別に集計した結果（2021年8月1日現在）を国際子ども図書館ホームページで公開した。

※<https://www.kodomo.go.jp/info/publication/index.html>

## (3) 利用者サービス

### ○来館利用サービス（18歳未満を対象とした来館利用サービスは3.1を参照）

児童書研究資料室では、約4万点の児童書及び児童文学に関する参考図書・研究書等を開架している。また、利用者用端末を配備し、各端末から資料検索、書庫資料の閲覧申込み・複写申込書の作成のほか、デジタル化資料等電子情報の閲覧が可能である。令和3年度の児童書研究資料室の利用者数は7,414名、閲覧点数は19,696点、複写申込は4,181件であった。

また、令和4年2月に、児童書研究資料室の開架資料の再配置を実施した。日本の絵本の海外での翻訳刊行版や世界の約150の国・地域の絵本を排架する書架を増やしたほか、公共図書館等における子どもに対する障害者サービスや多文化サービスに関連する資料を排架する「読書バリアフリー推進支援コーナー」、SDGsに関する児童書の調査研究・選書に役立つ資料を排架する「SDGs関連資料コーナー」を新設した。

### ○遠隔サービス

国際子ども図書館所蔵資料の遠隔複写、図書館間貸出し及び蔵書に関する問合せに回答するレファレンスサービスを行っている。レファレンスの回答事例の一部はレファレンス協同データベースで紹介している。令和

3年度の遠隔複写申込みは2,076件、図書館間貸出数は185点、文書によるレファレンス回答処理は237件、電話によるレファレンス回答処理は1,457件であった。

また、国際図書館連盟（IFLA）の「絵本で世界を知ろうプロジェクト」から寄贈された世界43か国・地域の絵本365点及び付属資料を、展示会セット「絵本で知る世界の国々—IFLAからのおくりもの」として、国内及びアジア・オセアニア地域の図書館等に貸し出している。令和3年度は国内6機関に貸し出した。

#### (4) 国会サービス及び行政・司法の各部門に対するサービス

##### ○国会サービス

主に調査及び立法考査局を窓口として、資料の閲覧・貸出し・複写・レファレンス等のサービスを行っている。令和3年度は国会サービスのため所蔵資料148点を出納した。

##### ○行政・司法の各部門に対するサービス

国際子ども図書館では東京本館・関西館と同様に、各府省庁及び最高裁判所に設置されている支部図書館27館（6分館を含め33館）に対して、資料の貸出し等を行っている。令和3年度の貸出数は15点、電話によるレファレンス回答処理は1件であった。

## 2.2 子どもの読書活動推進支援

### (1) 子どもの読書に関する情報発信

#### ○「子どもと本に関するニュース」

国際子ども図書館ホームページの「子どもと本に関するニュース」で、国内外の主な児童文学賞、子どもの読書と図書館に関するニュース等を紹介している。令和3年度は国内90件、国外50件、計140件の情報を掲載した。

※<https://www.kodomo.go.jp/info/index.html>



### (2) 人材育成支援

#### ① 国際子ども図書館が行った研修

##### ○令和3年度図書館情報学実習生の受入れ

関西館図書館協力課が公募により選考した実習生計2名を9月2日から9日まで受け入れ、カウンター業務、選書、装備・排架、レファレンスサービス等の実習を行った。

##### ○児童文学連続講座

児童サービスに従事する図書館員等を対象に、児童文学に関する知識の醸成に資することを目的とした児童文学連続講座「今を生きるヤングアダルトへ」の講義録画を令和3年11月1日から令和4年1月11日までオンラインで配信し、延べ1,279名が視聴した。講義の演題及び講師は次のとおりである（敬称略、肩書は実施当時のもの）。

- “ほんとう”の世界へ ～文学の魅力と、人生に役立つ読書法～  
 菅野 一徳（熊本大学准教授）
- 現代社会を生きぬく ～ヤングアダルト文学は何をどう映し出す？～  
 白井 澄子（元・白百合女子大学教授、国立国会図書館客員調査員）
- ヤングアダルト文学の後先  
 ひこ・田中（作家）



●日本の翻訳ヤングアダルト文学の現在

三辺 律子（翻訳家）

●児童書に関するレファレンスサービス

福田 由香（国際子ども図書館資料情報課主査兼情報サービス係長）

※<https://www.kodomo.go.jp/about/publications/outline/r3.html>

○児童サービス研究交流会

令和2年度児童サービス研究交流会「ウィズコロナ時代の児童サービス」は、令和3年4月30日に配信を終了した。延べ1,139名が視聴した。

なお、令和3年度は、実施を休止した。

※<https://www.kodomo.go.jp/study/forum2/index.html>

○講師派遣

令和3年度に、公共図書館の依頼により、2件の研修会等の講師を2名の職員が担当した。いずれもオンラインで対応した。

派遣先：延岡市立図書館、練馬区立光が丘図書館

また、9月にオンラインで開催された令和3年度新任図書館長研修において、国際子ども図書館長がパネルディスカッションを行ったほか、10月に富山県富山市で開催された富山県図書館協会創立90周年記念講演会において、国際子ども図書館長が講演を行った。

② 他機関との連携で行った研修等

○国際子ども図書館特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）の概要と、同法の施行に基づく障害者の読書ニーズ及び公共図書館・学校図書館の取組について学ぶことを目的として、伊藤忠記念財団との共催により標記特別研修を実施した。国際子ども図書館で研修動画の事前収録を行い、11月1日から12月12日まで伊藤忠記念財団のウェブサイトから配信した。延べ673名が受講した。国際子ども図書館からは、資料情報課職員が「国際子ども図書館が所蔵する障害者向け資料とその提供について」と題する報告を行った。

※<https://www.kodomo.go.jp/event/event/event2021-04.html>

○児童図書館員養成専門講座

日本図書館協会との共催により、公共図書館などの専門職員を対象とする第41回児童図書館員養成専門講座の一部科目の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国際子ども図書館での開催を中止し、会場を日本図書館協会に変更した。

(3) 学校図書館支援

○学校図書館セット貸出し

外国語の図書を含む児童書等約40点を1セットとして、全国の学校図書館へ貸し出している。1学期から、新たに「バリアフリー」をテーマとするセットの貸出しを開始した。国際子ども図書館ホームページに、「国際理解」17種類、「科学」1種類、「バリアフリー」1種類の各セットを構成する資料のリストと資料紹介のほか、セットを使った学校図書館活動や学習・読書活動の事例を掲載している。令和3年度は204校に計8,550点の資料を貸し出した。子どもたちがセットの次の利用校に推薦したい本を紹介する「読書郵便」は72校に送付した。

※<https://www.kodomo.go.jp/promote/activity/rent/index.html>

## 2.3 国際的な交流活動

### ○IFLA 年次大会

ロッテルダム(オランダ)で開催される予定であった世界図書館・情報会議(国際図書館連盟(IFLA)年次大会)は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、8月17日から19日まで、オンラインで開催された。児童・ヤングアダルト図書館分科会のセッションは8月17日にオンラインで開催され、常任委員である国際子ども図書館児童サービス課職員によるプレゼンテーションを含む録画配信と、質疑応答が行われた。



オンラインによる会議参加の様子

### ○IBBY 世界大会

新型コロナウイルス感染症の影響により2020年から延期されていた第37回国際児童図書評議会(IBBY)世界大会は、9月10日から12日まで、モスクワ(ロシア)でオンラインを併用して開催された。国際子ども図書館からは資料情報課職員1名がオンライン参加し、子どもの本の展示に関するプレゼンテーションを録画配信によって行った。



プレゼンテーション収録の様子

## 3. 子どもと本のふれあいの場としての活動

子どもたちが図書館や読書に親しむきっかけとなるよう、国内外の児童書を提供するとともに、各種イベントや見学、情報提供等を行った。

### 3.1 子どもの成長段階に応じた館内サービス

子どものへや・世界を知るへやでは、主に小学生以下を対象とする絵本、読み物、知識の本など約1万2千点を開架し、年齢に応じた本の紹介等を行っている。

中高生向けの調べものの部屋では、各種事典や調べもの体験プログラムで利用する資料等を含め、調査やレポート作成に役立つ本を約1万点开架している。

これらの資料室では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席の間隔を空ける等の対応を継続した。また、子どものへや・世界を知るへやでは、土・日曜日を中心に、室内の人数が上限を超えた場合に、新たな入室を制限する措置を講じた。

### ○子どものためのおはなし会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために開催を休止していたが、10月16日から再開し、毎週土曜日の午後2回、絵本の読み聞かせ等を実施した。令和3年度は計46回実施し、457名(うち18歳未満223名)が参加した。

### ○ちいさな子どものためのわらべうたと絵本の会

生後6か月以上4歳未満の子どもと保護者を対象として毎月第2水曜日に実施していたが、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を休止した。

### ○子どものためのおたのしみ会

通常のおはなし会の特別版として例年5月5日に実施していた「こどもの日おたのしみ会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。

11月14日には、恩賜上野動物園の協力により「秋のおたのしみ会」を実施し、子どもとその保護者53名が参加した。「秋のおたのしみ会」は、テーマを「キリン」とし、国際子ども図書館児童サービス課職員がキリンを題材とした絵本の読み聞かせを行った後、上野動物園の飼育員がキリンについてパワーポイントを使って説明した。また、エサ、毛皮や頭蓋骨の骨格標本、キリンの赤ちゃんの等身大写真ポスター等を展示した。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和2年度と同様に広い会場を使用し換気

に留意するほか、手指の消毒等を徹底した。



秋のおたのしみ会

### ○夏休み読書キャンペーン

夏休みに子どもが様々な本に出会うための企画として、7月16日から9月5日まで本を読んで問題に答えるクイズを子どものへやで実施し、計526名の子どもが参加した。クイズは、初級・中級・上級の3種類を用意した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、子どものへやの入室者数を制限している中での実施であったため、令和2年度に引き続き例年より問題数を減らし、各級とも短時間で読める本を選んだ。また、ホームページにも問題と解答を掲載し、来館できない子どもでも居住地の図書館の本を使ってクイズに挑戦できるようにする等の工夫を行った。

### ○夏休み親子図書館見学ツアー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

### ○夏休み小学生向けおはなし会等

例年、夏休み親子図書館見学ツアー終了後に、おはなし会やブックトークを実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に引き続き実施しなかった。

### ○幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校向けの見学

幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校向けに、それぞれのニーズに合わせて、手遊び・わらべうた、おはなし会、館内見学を組み合わせる見学会を行っているが、緊急事態宣言発出中は受入れを休止した。計12回実施し338名が参加した。

### ○中高生向けの見学・調べもの体験プログラム

令和3年度は3件の申込みがあったが、申込み後に緊急事態宣言の発出等があったことからいずれもキャンセルとなり、実施に至らなかった。

※<https://www.kodomo.go.jp/use/tour/youth.html>

### ○オンライン版「調べもの体験プログラム」図書館 de クイズ!

令和4年3月30日、中高生向けのオンラインイベントとして「図書館 de クイズ!」を開催した。通常は学校からの申込みで実施している「調べもの体験プログラム」に、全国各地の中高生が個人単位で参加できるイベントとし、インターネット上のツールを使いながら解くクイズを出題した。11名が参加した。

## 3.2 子どものための連携イベント

上野公園地区に所在する近隣文化機関との連携により、読書や図書館に親しみきっかけとなるよう、各種の子ども向けのイベントを実施した。

## ○子どものための音楽会

10月17日、東京都歴史文化財団東京文化会館との共催で、「Music Program TOKYO まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～」の一環として子どものための音楽会をレンガ棟3階ホールで開催した。子どもが親しみやすい選曲による弦楽四重奏を2公演（午後1時及び午後3時から40分ずつ）行い、126名（うち18歳未満59名）が参加した。演奏終了後、国際子ども図書館児童サービス課職員が絵本の読み聞かせを行った。



音楽会の様子

## ○子どものための絵本と音楽の会

東京・春・音楽祭実行委員会との共催により、令和3年3月31日からオンライン配信していた子どものための絵本と音楽の会『おんがくかいのよる』は、4月23日に配信を終了した。延べ視聴回数は1,185回であった。

また、令和4年3月27日に子どものための絵本と音楽の会『クマとこぐまのコンサート』を、レンガ棟3階ホールで開催した。同名の絵本の朗読に合わせてピアノ、クラリネット、コントラバスの合奏を行い、109名（うち18歳未満54名）が参加した。



会場の様子

## 3.3 子ども向けの情報発信

「国立国会図書館キッズページ」の「よんでみる？」のコーナーにコンテンツを11件追加した。

※<https://www.kodomo.go.jp/kids/index.html>

## 4 子どもの本のミュージアムとしての活動

児童書の持つ魅力を広く一般に紹介することを目的に、児童書に関する展示会を開催している。国際子ども図書館が主催する企画展示のほか、日本国際児童図書評議会（JBBY）など他機関から資料を借用して実施する巡回展示、共催による展示などがある。令和3年度は、「スポーツと子どもの本」、「上野の森をこえて図書館へ行こう！ 世紀をこえる煉瓦の棟」をレンガ棟3階本のミュージアムで開催した。このほか、子どものへや等の各資料室で、様々なテーマの下に小展示を行った。

### 4.1 館内展示

#### ○スポーツと子どもの本

レンガ棟3階本のミュージアムで、令和3年3月9日から6月13日までの78日間開催し、入場者数は7,880名であった。スポーツを主題とする絵本や児童文学、戦争や差別等の社会的テーマとスポーツとの関わりを描いた児童書の展示に加え、1964年の東京オリンピックを、当時出版された子ども向け雑誌等を通して振り返るほか、パラリンピックについて扱った児童書等を紹介し、全体で約180点の資料を展示した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来会期中に定期的に開催していたギャラリートークに替え、展示資料の紹介動画を常時上映した。



#### ○上野の森をこえて図書館へ行こう！ 世紀をこえる煉瓦の棟

令和4年3月22日から、レンガ棟3階本のミュージアムで開始した。国際子ども図書館の建築について、東京都の歴史的建造物に選定されているレンガ棟を中心に紹介し、建築模型などの実物や写真パネル、帝国図書館にゆかりのある文学者の作品等を展示した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来は会期中に開催していたギャラリートークに替え、改修工事の様子を建物の歴史とともに紹介する動画を常時上映した。



### ○児童書研究資料室の小展示

児童書研究資料室では、利用者の興味・関心を深める一助とするため、本のミュージアムにおける展示会に関連した小展示を2回実施した。また、海外の児童文学賞受賞作品をテーマとした小展示を3回、海外の絵本作家を取り上げた小展示を1回実施した。加えて、令和2年に日本国内の主要な児童文学賞を受賞した作品及び読書活動推進に関する児童サービスの基本資料を通年で展示した。



小展示「海外の児童文学賞受賞作品  
～アラブ首長国連邦」

### ○児童書ギャラリーの小展示

児童書ギャラリーでは、明治から現代までの児童文学史と絵本史の流れに一層親しむことを目的に、特定の作家や画家等に関する小展示を「作家・画家コーナー」で行っている。令和3年度は「佐藤さとる」（4月～10月）と「古田足日」（10月～令和4年3月）を紹介した。

### ○子どものへや・世界を知るへやの小展示

子どものへやでは季節や子どもの興味を引くテーマで小展示を行い、子どもたちが何度訪れても楽しめる工夫を施している。令和3年度は、「かえるの本」「海の本」「月の本」「穴の本」「スープの本」「ぼうしの本」の6回実施した。世界を知るへやでは「IFLA 絵本で世界を知ろうプロジェクト」「SDGsの本」など5種類の小展示を常設している。



小展示「穴の本」

### ○調べものの部屋の小展示

調べものの部屋では、2か月ごとにテーマを決め、入口のスタンドを利用して10点程度の本を紹介するウェルカム展示を行っている。令和3年度は、「つくる」「ボーダー」「歌舞伎」「遊び」「繋がる」「建築」の6回実施した。そのほか、SDGsに関する本の展示や、近隣の施設で行われている展覧会に合わせたテーマでの関連小展示を行った。

## 5 国内外の諸機関との連携・協力、広報活動等

国際子ども図書館は、国内外の図書館や児童書等の関係機関と密接に協力しながら、主に「子どもに本を手渡す大人」への支援を通じて、子どもの読書活動を推進している。令和3年度は関係機関の協力を得て、次の取組を行った。

### 5.1 講演会等

#### ○連続講演「DX時代の図書館と児童ヤングアダルトサービス」

11月24日に講演3件、令和4年3月24日に対談1件の動画配信を開始した。演題及び講師は次のとおりである（敬称略、肩書は実施当時のもの）。

●公共図書館の児童サービスのデジタル化の現状と課題  
鈴木 佳苗（筑波大学教授、国立国会図書館客員調査員）

●GIGAスクール時代に学校図書館は何ができるか  
有山 裕美子（軽井沢風越学園教諭）

●デジタル化で進める読書のバリアフリー—児童サービスの現場にできること  
野口 武悟（専修大学教授）

●対談 米国における学校教育のデジタル化の現状と日本の図書館に期待されること  
菅谷 明子（ジャーナリスト、ハーバード大学財団理事）、金沢みどり（東洋英和女学院大学教授）



## ○開館 20 周年記念コンテンツ「SDGs と子どもの本」

令和 4 年 3 月 24 日に新たなインタビュー動画 2 本を追加した。タイトル及び出演者は次のとおりである（敬称略、肩書は実施当時のもの）。

### ●子どもの本は魔法の箱—SDGs 実現に向けた IBBY の活動

張 明舟（国際児童図書評議会（IBBY）会長）

### ●思いを絵に込めて—絵本の力と SDGs

刀根 里衣（絵本作家）



ビデオメッセージのトップ画面

## 5.2 広報活動

### ○国際子ども図書館公式 Twitter アカウント運用開始

9 月 15 日に、国際子ども図書館公式 Twitter アカウントの運用を開始した。（アカウント名 (NDLKODOMO)）

### ○利用案内動画「国際子ども図書館ガイドツアー」の公開

9 月 21 日に、国際子ども図書館利用案内動画「国際子ども図書館ガイドツアー」を、国立国会図書館 YouTube 公式チャンネルで公開した。



### ○図書館総合展出展

11 月 1 日から 30 日まで行われた第 23 回図書館総合展（オンライン開催）において、「図書館見学会\_ONLINE」の専用ページに国際子ども図書館ガイドツアー動画へのリンクを掲載し、会期中は常時視聴可能とした。ページビュー数は 398 であった。

### ○「VR で探検！国際子ども図書館レンガ棟」の公開

令和 4 年 3 月 28 日に、インターネットを通じてレンガ棟の建物をいつでも、どこからでも探検することができるコンテンツ「VR で探検！国際子ども図書館レンガ棟」を公開した。このコンテンツは、360 度バーチャルリアリティで室内を自由に見渡せる 3D ビューの映像から構成されており、画面上に計測データやフロア図を表示できるほか、レンガ棟の探検を楽しめるようなスタンプラリーなどを盛り込んだ。



## 5.3 関係者会議

### ○令和 3 年度子どもの本と読書に関する懇談会

令和 4 年 2 月 16 日に、「令和 3 年度子どもの本と読書に関する懇談会」を開催した。これは、児童書のサービスに関わる団体が一堂に会し、子どもの本と読書に関する最新動向の報告や意見交換を行うことを目的として、平成 29 年度から毎年度開催しているものである。

令和 3 年度は「with コロナ時代の子どもの読書活動推進」というテーマの下、「研修・講演会等のオンライン化の影響」と「子どものインターネット利用と読書」をサブテーマとして、オンラインで開催した。国際子ども図書館から「国際子ども図書館基本計画 2021-2025」の概要を報告し、参加機関からはテーマ・サブテーマに関連する取組や課題等について報告があった。外部機関・団体の参加者は 13 機関・団体、13 名であった。

## 5.4 見学・案内

### ○議会関係者向けの案内

令和 3 年度は、国会議員 1 件 6 名（随行 3 名）及び地方自治体・地方議会関係者 1 件 1 名の案内を行った。

### ○一般向けの案内

ガイドツアー（毎週火・木曜日）及び一般向け団体見学を、10月26日から定員を減らし、予約制として再開した。個人向け32件152名、団体向け6件55名が参加した。

#### ○図書館向けの案内

図書館職員や小中学校の学校図書館司書等、図書館関係者向けの見学案内については、令和3年度は計1回実施し、3名が参加した。

#### ○外国人向けの案内

外国公館関係者、海外の図書館関係者等を含む、外国人向けの見学案内については、令和3年度は1回実施し、5名が参加した。

#### ○子ども向けの案内

3.1 (p8) 参照

### 5.5 刊行物

令和3年度は、次のとおり刊行した。（タイトル五十音順）

#### ○『国際子ども図書館の窓』第21号（2021年10月1日）（ホームページ掲載）

※[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11766663\\_po\\_2021-mado.pdf?contentNo=1&alternativeNo=](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11766663_po_2021-mado.pdf?contentNo=1&alternativeNo=)

#### ○国際子ども図書館メールマガジン 206～231号（2021年4月～2022年3月）

※<https://www.kodomo.go.jp/about/mailmagazine/2021/index.html>

#### ○児童文学連続講座講義録（2021年9月15日）（紙媒体刊行及びホームページ掲載）

『令和2年度児童文学連続講座講義録「10代に手渡す物語—ヤングアダルト文学総論」』

※<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11719711>

## 令和3年4月から令和4年3月までの主なできごと

### 令和3年

---

- 4月20日 子ども読書の日 おたのしみ企画（～5月12日）
- 4月23日 子どものための絵本と音楽の会『おんがくかいのよる』配信終了（3月31日～）
- 4月30日 令和2年度児童サービス研究交流会「ウィズコロナ時代の児童サービス」配信終了（3月5日～）
- 6月13日 展示会「スポーツと子どもの本」終了（3月9日～）
- 7月16日 夏休み読書キャンペーン2021（～9月5日）
- 9月2日 令和3年度図書館情報学実習（～9月9日）
- 9月15日 国際子ども図書館公式 Twitter アカウント運用開始  
令和2年度児童文学連続講座講義録刊行
- 9月21日 国際子ども図書館利用案内動画「国際子ども図書館ガイドツアー」公開
- 10月1日 『国際子ども図書館の窓』第21号刊行
- 10月16日 子どものためのおはなし会再開
- 10月17日 子どものための音楽会 Music Program TOKYO まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～
- 10月26日 ガイドツアー・団体見学の再開
- 11月1日 国際子ども図書館特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」（録画した講義映像を配信 ～12月12日）  
国際子ども図書館児童文学連続講座「今を生きるヤングアダルトへ」（録画した講義映像を配信 ～令和4年1月11日）  
第23回図書館総合展 図書館見学会\_ONLINE（～11月30日）
- 11月14日 子どものための秋のおたのしみ会 「キリンの絵本の読み聞かせとキリンの飼育員さんのおはなし」
- 11月24日 連続講演「DX時代の図書館と児童ヤングアダルトサービス」（録画した映像を配信 令和4年3月24日に追加映像配信）

### 令和4年

---

- 2月16日 子どもの本と読書に関する懇談会（オンライン開催）
- 3月8日 国際子ども図書館開館20周年記念コンテンツ「SDGsと子どもの本—いま、図書館にできること」の追加映像配信
- 3月22日 展示会「上野の森をこえて図書館へ行こう！ 世紀をこえる煉瓦（レンガ）の棟」（～5月22日）
- 3月27日 子どものための絵本と音楽の会『クマとこぐまのコンサート』
- 3月28日 「VRで探検！国際子ども図書館レンガ棟」の公開
- 3月30日 オンライン版「調べもの体験プログラム」図書館 de クイズ！（オンライン開催）
- 3月31日 海外で翻訳刊行された日本の児童書に関するデータファイルの提供開始

# 数字で見る国際子ども図書館

令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(1) 国際子ども図書館所蔵統計（令和4年3月31日現在）

資料区分			所蔵数	
資料 情報課	図書 (単位：点)	日本語 (*1)	333,790	
		外国語 (*2)	中国語・朝鮮語資料	31,550
			アジア言語資料 (中国語・朝鮮語資料以外)	11,222
			欧米言語資料	83,974
			計	460,094
	逐次刊行物 (単位：タイトル、 カッコ内は点)	国内雑誌	1,896 (103,342)	
		外国雑誌	192 (11,371)	
		計	2,088 (114,713)	
	非図書資料 (単位：点)	マイクロ資料 (マイクロフィルム、マイクロフィッシュ等)	38,000	
		映像資料 (ビデオディスク、ビデオカセット等)	11,072	
		録音資料 (オーディオディスク、カセットテープ等) (*3)	3,776	
		機械可読資料 (光ディスク等)	7,463	
		楽譜資料	1,641	
		カード式資料 (カルタ等)	11,466	
		静止画資料 (紙芝居等)	21,622	
		点字・大活字資料	3,981	
	計	99,021		
	開架閲覧用資料 (単位：点) (*4)		22,102	
	児童書ギャラリー		2,190	
	貸出用資料 (単位：点)		365	
児童 サービス課	開架閲覧用資料 (単位：点)		30,266	
	子どものへや・世界を知るへや		16,331	
	調べものの部屋		13,935	
	貸出用資料 (単位：点)		5,510	

\*1 児童書関連書（2006年9月以前選書分12,342点）を含む。

\*2 児童書関連書（6,668点）を含む。言語別の所蔵数の計は収集整理システムによる採取のため、外国語の所蔵数と一致しない場合がある。

\*3 教師用指導書のみである。

\*4 日本語の児童書関連書（2006年10月以降選書分）及び児童関連誌並びに児童書ギャラリー用資料の合計点数である。

## (2) 来館者統計

開館日 (日)	284
来館者 (人)	67,204
(うち 18 歳未満)	(14,150)

## (4) 資料出納統計

国会サービス (点)	148
児童書研究資料室 (点)	19,696

## (3) 各室利用統計

児童書研究資料室	開室日 (日)	284
	利用者 (人)	7,414
子どものへや・ 世界を知るへや	開室日 (日)	284
	利用者 (人)	49,747
児童書ギャラリー	開室日 (日)	284
	利用者 (人)	24,850
調べものの部屋	開室日 (日)	284
	利用者 (人)	25,773

## (5) 複写サービス統計

(対象：国会サービス)

紙	件	1
	枚	1
プリント アウト	件	0
	枚	0
マイクロ	件	0
	フィルム (コマ)	0
	フィッシュ (枚)	0

(対象：一般)

紙	件	5,632
	枚	32,024
プリント アウト	件	625
	枚	16,104
マイクロ	件	0
	フィルム (コマ)	0
	フィッシュ (枚)	0

\*調査及び立法考査局の依頼に基づくものである。

## (6) 資料貸出統計

(対象：国会サービス)

貸出し (点)	0
---------	---

(対象：行政・司法各部門)

相互貸出し (点)	15
-----------	----

(対象：一般)

図書館間貸出し (点)	185	
学校図書館セット貸出し	件	204
	点	8,550
展示会出品資料貸出し	件	7
	点	2,191

## (7) レファレンスサービス統計①

(対象：一般)

文書回答	処理文書 (通)	133
	処理 (件)	237
電話回答	受理 (件)	1,240
	(うち 18 歳未満)	(0)
	処理 (件)	1,457
	(うち 18 歳未満)	(0)
口頭回答	受理 (件)	6,563
	(うち 18 歳未満)	(575)
	処理 (件)	7,637
	(うち 18 歳未満)	(683)

(7) レファレンスサービス統計②

(対象：国会サービス)

文書回答	処理文書（通）	0
	処理（件）	0
電話回答	受理（件）	0
	処理（件）	0
口頭回答	受理（件）	0
	処理（件）	0
調査局経由*	処理（件）	0

(対象：行政・司法各部門)

文書回答	処理文書（通）	0
	処理（件）	0
電話回答	受理（件）	1
	処理（件）	1
口頭回答	受理（件）	0
	処理（件）	0

\*調査及び立法考査局で受付後、回付されたものである。

(8) 参観・見学統計\*

国会議員、前・元議員	件	1
	人	6
その他の国会関係者	件	0
	人	3
行政・司法	件	1
	人	3
国内	件	52
	人	549
	（うち18歳未満）	(360)
海外（外国公館関係者を含む）	件	1
	人	5
	（うち18歳未満）	(0)

\*件数は、参加者に複数の種別が混在する場合、主たる種別のみ「1件」とし、他の種別については「0件」とする。

(9) 国際子ども図書館ホームページアクセス統計

https://www.kodomo.go.jp/以下の全コンテンツ	データへのアクセス （件）	4,224,897
トップページ（日本語版）	トップページへのアクセス （件）	296,256

## 国際子ども図書館利用案内

新型コロナウイルス感染症の状況によりサービスに変更が生じる場合があります。

最新情報は国際子ども図書館ホームページでご確認ください。

国際子ども図書館ホームページ <https://www.kodomo.go.jp/>

電話 03 (3827) 2053 (代表) 03 (3827) 2069 (音声による利用案内)

### ★来館利用 ホームページ > 利用案内

問合せ先 : 企画協力課

開館時間 : 9:30~17:00 資料請求 : 9:30~16:30 (児童書研究資料室)

複写受付 : 10:00~16:00 (後日郵送複写のみ 16:30 まで) 複写製品引渡し : 10:00~12:00、13:00~16:30

休館日 : 月曜日、国民の祝日・休日 (こどもの日は開館)、年末年始、毎月第3水曜日

所蔵資料 : 国内刊行児童図書・雑誌、外国語の児童図書・雑誌、児童書関連図書・雑誌等

※資料の利用は館内のみ。館外への帯出はできません。

### ★レファレンス・資料案内 ホームページ > 本・資料を探す > レファレンス・サービス

問合せ先 : 資料情報課情報サービス係

申込方法 : 来館、文書 (図書館経由)、電話

※児童書・児童文学、児童図書館活動等に関する問合せにお答えします。

※資料を直接確認しなければならないなど時間を要する調査及び聞き間違いが生じやすい外国語文献についてのレファレンスなどは文書でお申込みください。

### ★資料の複写 (有料) ホームページ > 利用案内 > 複写サービス

問合せ先 : 資料情報課情報サービス係

申込方法 : 来館、国立国会図書館オンライン経由 (登録利用者・機関のみ)

郵送 (登録利用者・機関のみ)

### ★資料の図書館間貸出し ホームページ > 利用案内 > 図書館間貸出し

問合せ先 : 資料情報課情報サービス係

※「図書館間貸出制度」に加入している図書館のみ利用できます。

※雑誌や昭和25年以前刊行の図書など貸出しができない資料もあります。

### ★見学・体験 (調べもの体験プログラム) ホームページ > 利用案内 > 見学・体験

問合せ先 : 企画協力課広報係 (一般向け)

児童サービス課児童サービス企画係 (中高生向け)

児童サービス課児童サービス運営係 (幼稚園・保育園・小学校向け) (特別支援学校向け)

### ★学校図書館セット貸出し ホームページ > 子どもの読書活動推進 >

国際子ども図書館における実践 > 学校・学校図書館へのサービス > 学校図書館セット貸出し

問合せ先 : 児童サービス課児童サービス企画係

---

## 国際子ども図書館の窓 第22号

2022年9月30日発行

発行 国立国会図書館

編集 国立国会図書館国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

電話 03 (3827) 2053 (代表)

FAX 03 (3827) 2043

---

本誌に掲載された記事を全文又は長文にわたり抜粋して転載される場合には、  
事前に国際子ども図書館企画協力課広報係までご連絡ください。

**The Window**  
**the journal of the International Library of Children's Literature**

**No.022 September 2022**

---

**Contents**

<a href="#">【ILCL activity report】</a> .....	3
<a href="#">【List of events and activities; April 2021 - March 2022】</a> .....	13
<a href="#">【ILCL in figures】</a> .....	14
<a href="#">【ILCL user guide】</a> .....	17

---

International Library of Children's Literature,  
National Diet Library,  
Tokyo